

自信を持って英語で発信できるようになるために

鈴木 華

メンバーとの顔合わせ

OSGSプログラムはオハイオ州にあるフィンドレー大学の教授、グレッグ先生にZoomを通して「英語で発信する力」を取得するプログラムです。このプログラムはフィンドレー大学の正式な授業として単位認定されるため、大学の入学手続きも現地の先生に教えていただきながら、自分たちで行いました。その入学手続きを行うZoomが、後期メンバーとの初めての顔合わせとなりました。

どのようなメンバーとこれから5ヶ月間授業を受けるのだろうとドキドキしていたのですが、みんなの人柄の良さが画面から伝わり、一安心しました。

それから数日後、県庁に招いていただき、対面で顔合わせを行う機会を設けていただきました。初めに英語で一人一人自己紹介を行うことになり、非常に緊張しましたが、なんとか拙い英語で頑張りました。その後、メンバー全員と個別にお話する時間も設けていただき、少しずつですがメンバーとの距離も縮んでいきました。

まだぎこちないところもありますが、もっと距離感を縮めて仲良くなりたいと思っています。



Hello! はじめまして。

皆様はじめまして。埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム後期に参加させていただくことになりました鈴木華です。現在は埼玉県にある自宅から都内の大学に二時間かけて通学しており、今年の四月から大学四年生になります。五ヶ月弱という短い間ですがOSGSプログラムでたくさん学び、埼玉親善大使として埼玉県の魅力を多くの人に発信し活躍できるよう、頑張りたいと思っていますので、これからどうぞよろしくお願いたします。

それでは早速、プログラムがスタートしてから約一ヶ月が経ちましたので、授業の様子や現地大学生との交流等を紹介していきたいと思っています。





現地学生パートナー Leahとの日常

今回のOSGSプログラムでは、日本人の参加者に一人一人現地のアメリカ人学生のパートナーがついて、ペアワークに取り組むことになりました。週に一度、Zoomなどを用いてお互いの国の文化を共有したり、授業の手助けをしていただいたりしています。

私のパートナーはジャーナリズムを専攻している大学四年生のLeahです。Leahと私はお互いK-popが好きなので、初めてZoomをした時からとても話が弾みました。いつもLINEやInstagramを用いてコミュニケーションをとっており、オンライン上であっても仲良くなることができました。

これから〈Introductory Tour〉という、フィンドレー大学の学生はキャンパスを、日本人の学生は地元の様子を紹介するという取り組みを行う予定です。次回はそちらをレポートできればと思います。



二週間に一度のグレッグ先生の授業

一月にスタートしたグレッグ先生の授業ですが、先々週の授業でもう3回目となりました。初回の授業から緊張が止まず、毎回ドキドキしながら授業に臨んでいます。授業はただ先生の講義を聴いているだけではなく、メンバー自らが発言する必要があります。拙い英語でも自信を持って発言できるようになるために、授業外でもパートナーとたくさん会話をして英語での会話に慣れていきたいと思っています。

さて次に授業の内容について紹介しようと思います。今期のプログラムテーマは“Decade (10 years) Project”です。初回の授業内で話し合いの結果、音楽に焦点を当てて日本とアメリカの時代の変化を追うことに決めました。私は1990年代のアメリカ音楽を担当することになったのですが、あまり馴染みのないアーティストばかりだったので、最近は毎日1990年代の音楽(特にNirvana)を聴いています。四月には、フィンドレー大学の学生に向けて、プログラムテーマに関する発表も行います。発表までもっと1990年代の音楽について深められるように準備を頑張りたいと思います。また、グレッグ先生の授業ではプログラムテーマに関する内容だけでなく、アメリカ人とのコミュニケーションの取り方なども教えていただいています。新たな学びが多いこの授業に参加することができて、本当に有難いく思っています。毎回の授業を大切に、多くのことを吸収したいです。

